

(観光文化部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
2 世界に開かれた活力あふれる熊本 (施策4) スポーツ、観光、文化芸術の振興 施策4-①スポーツ政策の推進	373,288	355,110	1 公民連携によるスポーツ施設整備検討事業 老朽化等の課題を抱える県有スポーツ施設の整備の方向性を決定するため、スポーツ施設整備への民間活力の導入のための調査や、全国の先進地視察を行った。 また、有識者10人で構成する「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」を2回開催、令和7年9月に提言書を取りまとめていただいた。令和7年9月議会において、県としての整備の方向性（県立体育館：現地再整備、藤崎台県営野球場：移転再整備、熊本武道館：改修[空調設備等の整備]、県民総合運動公園陸上競技場：現状維持[交通アクセスの改善]）を表明した。 2 スポーツツーリズム支援事業 スポーツ大会の開催や宿泊誘致、スポーツと食や観光・自然等地域特有の資源を組み合わせたスポーツツーリズムを展開し、継続的な誘客につなげた。また、前年度までに開発したスポーツツーリズム商品の磨き上げや販売促進、情報発信を行った。 3 ツール・ド・九州受入環境整備事業 令和7年10月10日～13日に、長崎県、福岡県、熊本県、宮崎県、大分県を舞台に「マイナビ ツール・ド・九州 2025」を開催した。12日の熊本阿蘇ステージでは、コース沿線や熊本市内で開催したパブリックビューイングにおいて約51,000人が観戦した。 4 国際バドミントン大会誘致促進事業 熊本市と連携して、令和7年11月11日～16日に、県立総合体育館でバドミントン国際大会「熊本マスターズジャパン 2025」を開催した。トップクラスの選手が国内外から240人参加し、約19,300人が観戦した。 5 プロスポーツによる地域活性化事業 県内プロスポーツ3チーム（ロアッソ熊本・熊本ヴォルターズ・火の国サラマンダーズ）において、ファン獲得のためのホーム試合無料招待、アウェー試合での熊本PR等を行った。 また、ロアッソ熊本の選手が指導するサッカー教室などの県民との交流イベントを実施することにより、子どもたちの夢づくりを促進し、地域活性化を図った。 6 熊本県民総合運動公園アクセス改善対策事業 ロアッソ熊本のホームゲーム6試合で、パーク&バスライドやシャトルバス運行による渋滞対策を実施した。周辺道路で目立った混乱や大きな渋滞等は発生せず、一定の成果を上げることができた。	計画調査費のうち P140 ～ P141 観光費のうち P321 ～ P322

(観光文化部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策４－①スポーツ政策の推進)			7 アーバンスポーツ振興事業 令和８年２月７日～８日に、菊陽町総合体育館でアーバンスポーツイベント「KUMAMOTO URBAN SPORTS FES 2026」を開催した。同イベントで実施したスケートボード大会「くまモンカップ」では国内外のトップアスリート等が参加し、約４,５００人が来場した。	観光費のうち P321 ～ P322
施策４－②観光振興	618,479	611,458	1 デジタルマーケティング事業 デジタルを活用したプロモーションの実施にあたり、動画や SNS 等の広告配信データ等を分析し、本県観光の魅力をより効果的に発信した。 2 スマート観光交通体系構築推進事業 阿蘇地域をモデルとして、観光地までの二次交通の課題を克服し、デジタル媒体等で検索・予約・決済をシームレスにつなげることで、旅行者の周遊性・利便性の向上を図った。 3 地域の活性化を牽引する観光産業創造事業 県が作成した地域未来投資促進基本計画に基づき承認を受けた事業者の事業計画のうち、他の事業者のモデルケースとなりうる、先進性があり高い経済的波及効果を及ぼす設備投資等への支援を実施した。 ・補助実績：１件 4 地域連携型観光地域づくり緊急支援事業 高付加価値化や観光客の受入環境整備などに観光関係事業者等が一体となって取り組む地域に対して、専門家による伴走支援やＤＸ化等の支援を実施した。 ・支援地域（伴走支援）：５地域 ・補助実績（受入環境整備）：２件（ＤＸ化支援）、６件（課題解決支援） 5 スマート観光提案型システム構築事業 多数の海外の旅行会社に、各国の多様な観光ニーズに合った旅行プランをスピーディーに提案するため、デジタル技術を活用した観光ルート提案システムの活用を図った。 6 観光産業復興による雇用創出事業 観光関連業界を対象とした合同就職面談会やセミナー等の実施により、観光関連産業における人手不足解消を図った。	観光費のうち P322

(観光文化部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策４－②観光振興)			7 スマートツーリズム基盤創生・活用事業 デジタル広告配信や Web から集まるデータを、事業横断・年度縦断で蓄積して可視化したデータ基盤（観光 DMP）の運用・活用を行うとともに、活用促進に向けた研修会の実施により人材育成を図った。 8 国内観光誘致対策事業 県内各地域及び東京・大阪・福岡事務所と連携した観光PRや県内各地域の着地型旅行商品の発掘と磨き上げを行った。 ・着地型旅行商品を観光予約サイト「くまもつと旅行社。」で販売（利用人数：延べ9,810人） ・県外の飲食店等を「くまもつとうまか応援店」に認定し、観光及び県産品情報を発信（東京事務所管内：28店舗、大阪事務所管内：29店舗、福岡事務所管内：54店舗を認定） 9 教育旅行誘致推進事業 教育旅行宿泊者数の回復及び新たな需要の獲得に向けて、新規校に対する宿泊費又はバス費用の助成や、学校及び旅行会社に対するセールスを実施した。 ・新規校助成実績：交付校数42校、延べ宿泊者数4,362人 ・教育旅行素材の情報収集及びプログラム造成のアドバイス、学校や旅行会社等のニーズと地元のマッチングを行うワンストップ窓口の設置 10 旅するくまモンパスポート事業 旅行者の県内周遊を促進するため、LINE を活用したデジタルクーポン「旅するくまモンパスポート」の認知度向上及び利用促進に取り組んだ。 ・友達登録者数：約26.7万人（令和8年3月31日時点） 11 インバウンド誘致推進事業 海外旅行会社向けのセミナー、現地旅行会社と県内観光事業者との商談会、ファムトリップの開催、旅行博への出展、現地セールス及びSNSを活用した情報発信等を実施した。 ・台湾旅行会社（高雄）29社、（台北）85社を招請し、高雄・台北で県内観光事業者24団体と現地での商談会を開催 ・台湾、香港、タイでの旅行博への出展 ・台湾、中国、タイ、韓国のインフルエンサーを招請した県内観光地の情報発信 ・4言語の公式SNS（フォロワー計17.2万人）による県内情報の発信	観光費のうち P321 ～ P322

(観光文化部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策4－②観光振興)			12 台湾インバウンド誘客強化事業 台湾現地に観光レップ（現地代理人）を設置し、現地でのマーケティング、情報発信、営業活動を強化した。 また、台湾からの教育旅行の円滑な受入れのための相談窓口を通じて、10件のマッチングによる熊本訪問が実現し、287人が来熊した。 13 新たな旅のスタイル促進事業 ワーケーションの推進に向けて、各地域のコーディネーターのフォローアップやプログラムの磨き上げを行うとともに、セミナーや現地イベントを開催し、熊本ワーケーションモデルの認知度向上に取り組んだ。 14 クルーズ船誘致促進事業 県内港への寄港誘致のため、国内外のクルーズ船社23社へ訪問セールスを行うとともに、海外の展示会等に4回出展し、船社のキーパーソンとの関係構築に取り組んだ。 また、富裕層向けクルーズ船を天草地域の港に誘致するため、市や観光協会等の地元関係機関と協力して天草ハイヤの披露など特色のある受入活動を企画し、提案することで、牛深港への寄港が実現した（12月：初寄港セレモニー）。 15 クルーズ船受入体制強化事業 八代港では、地元協議会と連携し、初寄港セレモニー5回を含む37回のクルーズ船を受け入れた。 また、増加傾向にあるFITの満足度向上に向けて、多言語化したクルーズ客専用の県内観光地マップや刷新した乗船客向けFAQをターミナル内の観光案内所で配布したほか、港近郊の観光強化に向けて、八代城周辺のガイドツアーを企画・実施し、受入環境の充実に取り組んだ。 16 『ONE PIECE』連携復興応援事業 麦わらの一味の銅像を起点とした周遊促進を図るため、デジタルスタンプラリー等の運用や、地域や南阿蘇鉄道と連携したサニー号トレインの運行に加え、県内交通事業者と連携し、バスツアーを催行した。 さらに、令和8年4月に本プロジェクト開始から10年の節目を迎えることから、令和8年3月20日から「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト10年展」を開催した。（～5月24日）	観光費のうち P320 ～ P322

(観光文化部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策４－②観光振興)			17 観光誘客プロモーション推進事業 令和８年夏に開催する国内最大級の観光キャンペーン「熊本デスティネーションキャンペーン」に向け、全国宣伝販売促進会議及びエクスカーションツアーを開催した。 ・全国宣伝販売促進会議 開催日：令和７年８月２７日 場所：ホテル日航熊本 参加者：全国の旅行会社、ＪＲグループ各社、雑誌社等５０８人 ・エクスカーションツアー 開催日：令和７年８月２８日～２９日 場所：県内を巡る８コース 参加者数：１５６人 18 DMO等連携推進事業 観光地域づくり団体（DMO）の活力を最大限に生かし、広域的な観光地域づくりの継続的展開を図るための支援を実施した。	観光費のうち P322
施策４－③文化芸術の振興	9,610	7,963	1 子ども芸術文化活動支援事業 伝承文化の継承のため、地域で伝承芸能活動をしている子どもたちが、同じ分野の活動をしている他地域の子ともたちと交流を行い、技術力や活動意欲の向上に取り組んだ。また、地域間交流を行う団体に対し交流費用の補助を行った。 ・箏をテーマに県内２地域９団体の子どもたちが交流を行い、専門家の指導の下、互いに技術を学びあい、合同演奏を行った。 ・太鼓を学ぶ子どもたちの地域間交流を行う２団体に補助を行った。 2 くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業 熊本県の将来の文化の担い手となる芸術家を育成するため、海外での研修やコンクール等に参加する若手芸術家への支援を行った。 ・支援実績：７人 3 博物館等施設の文化観光推進事業 地域の魅力発掘事業として、人吉球磨の日本遺産等を活用した歴史や自然文化に関する講座を５回（８７名）及びエコツアーを２回（１８名）実施した。 また、文化観光拠点推進事業として、学芸員等を対象とした研修会を１回（１２名）及び博物館等連携展示を２回（３７名）実施した。	計画調査費のうち P140 ～ P141

(観光文化部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
3 いつまでも続く豊かな熊本 (施策3) 魅力ある地域づくり 施策3-①市町村との連携・地域特性を踏 まえた地域振興	11,921	11,920	1 伝統的工芸品販売力強化等支援事業 新たな魅力創造事業として、ブランド力のあるショップと連携し、「小代焼」と地域の食文化とのコラボを軸とした商品開発を行い、福岡、東京で販売を実施した。事業終了後も販売を継続するなど販路の拡大にもつながった。 販売力強化支援として、インバウンド需要の取り込みを見据え、海外向けE C販路の構築を行い、11 事業者が参加した。 また、海外での販路拡大につなげるため、台南市總爺和風文化祭に出展した。本県伝統的工芸品の展示及び工芸体験を行い、約 21,000 人の来場があった。	商業総務費のうち P304 ～ P305
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策1)「緑の流域治水」を核とした創造的 復興 施策1-②若者が“残り・集う”産業・雇 用の創出	25,661	23,959	1 「マンガ県くまもと」構想推進事業 人吉・球磨地域がモデル地となっているアニメ「夏目友人帳」と連携して、モデル地を周遊するAR機能付きデジタルスタンプラリーアプリの配信やイベントを開催するなど、県内外からの誘客・周遊を促進した。 2 Kuma ラボ（コンテンツラボ）運営事業 産学官の多様なプレーヤーが集まり意見交換を行う場である「コンテンツラボ」において、「妖怪スタンプラリー」の実施などの地域伝承を活用した誘客促進に加え、地域で自走していくための仕組みづくりを進めた。	観光費のうち P321 ～ P322

(観光文化部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策2) 災害に強い県土づくり 施策2-①防災力の強化	102,454	100,948	1 熊本地震震災ミュージアム推進事業 令和5年7月に熊本地震震災ミュージアムK I O K Uを開館し、令和7年度末までに約15万人が来館した。 4月に基調講演、8月に開館2年イベントを開催するとともに、熊本地震震災ミュージアム「記憶の廻廊」の震災遺構等を巡るモデルルートの作成・公開、企業・団体の研修旅行等誘致につなげるためのバスツアー（モニターツアー）を実施するなど、K I O K Uへの誘客に取り組んだ。 また、K I O K Uの第Ⅱ期指定管理者について、指定管理候補者選考委員会等により選定した。	観光費のうち P321 ～ P322